

使い勝手がよさそうに見え、運がよくちょうど試作品を借りられ、使ってみて期待通りの物だったので、購入を決めました。区の福祉制度を使えたので良かったです。今回の事は私の不注意で招いた事ですが、福祉制度を使わなくても、多少手が不自由な人でも使えるトラックボールが、安く電化量販店や近所の電気屋さんで、気軽に買えて、多少のメンテナンスを受けられれば、購入時の補償も付いて、新しいトラックボールが6,7年待たなくても、安く購入できたのかなあと思いました。今回の冒頭にも書きましたが、大分活気が戻り、いつもの楽しい国際福祉機器展でした。



この電動ベットはほぼ床まで下がるものです。

さてここからは、福祉機器展にちなんで、過去私が使った福祉機器のお話しをしましょう。

養護学校（現在の特別支援学校）に入学し、同級生や学校から歩行器を借りて使用していました。その後福祉制度を使って歩行器2台、手動車いすが3台。電動車いすは、現在使用しているので、8台目になるのでしょうか？さらに歩行訓練用の、補装具、松葉杖、そしてワープロ、パソコン、今回のトラックボール。生活するだけで精一杯な障がい者にとっては、本当に良い精度だと思います。ただ日進月歩の世の中、次から次へと新しいタイプのパソコン出て来るので、次のパソコンは多少自費が掛かっても、補助を使わずに買い替えてしまう人がほとんどです。いや、使いたくても使えない人も中にいるかもしれない。それに健常者でも、どんなに残業して生活を切りつめても、最新家電などは、簡単に手に入れられない人の事を思えば、私たちは幸せかもしれません。

だいぶ前の新聞にも同じようなことを書きましたが、今はスマートフォンはじめ、タブレットを使って動かすものが主流になってきているようです。そういう機器を動かして、収納が簡単なものがあれば私のような、手に障がいがある人でも便利だと思いますが、どう思いますか？



今年もCILたいとう事務局員の高橋さんとそれぞれ興味のあるものを見て回りました。